

感染症情報 4月9日～15日

府下小児科196医療機関(堺市17)から

①感染性胃腸炎	1330例(堺市	40例)
②溶連菌感染症	344例(堺市	28例)
③RSウイルス感染症	108例(堺市	2例)
④突発性発疹	95例(堺市	1例)
⑤みずぼうそう	62例(堺市	2例)

府下インフルエンザ定点302医療機関(堺市27)から

インフルエンザ	219例(堺市	23例)
---------	---------	------

が報告された。

感染症報告数は前週比25.9%増の2,063件であった。

報告の第1位は感染性胃腸炎で、以下溶連菌感染症、RSウイルス感染症、突発性発疹、みずぼうそうの順であった。

感染性胃腸炎は府下で前週より37%増、堺市では前週より21%増であった。溶連菌感染症は府下で前週より5%増、堺市で前週24例→今回28例で17%増であった。RSウイルス感染症は府下で前週比29%増、堺市で前週3例→今回2例であった。みずぼうそうは府下で前週より23%減、堺市では前週・今回とも2例であった。

インフルエンザは府下で前週260例→今回219例で16%減、堺市では前週32例→今回23例で28%減となった。定点当たりでは前週が0.9で、今回が0.7となった。

麻疹や風疹の報告はなかった。